

小学校体育科 学習評価と評価規準例

(単元〈題材〉ごと)

第 6 学年

～ご使用にあたって～

運動領域の各単元〈題材〉ごとに、評価規準の「例」として示したものです。
ご使用の際は、各学校の教育目標などに沿って、適宜変更してご使用ください。

株式会社Gakken

体づくり運動 体ほぐしの運動

【単元の目標】

- 体ほぐしの運動の行い方を理解することができるようにする。
- 心と体の関係に気づいたり，仲間と関わり合ったりすることができるようにする。
- 自己の心と体の状態に合わせて，運動の行い方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み，約束を守り，助け合って運動をしたり，仲間の考えや取り組みを認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能 (運動)	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動の行い方を理解している。 ・心と体が関係し合っていることに気づくことができる。 ・自他の心と体に違いがあることを理解し，仲間のよさを認め合っている。 ・仲間の心と体の状態に配慮しながら，豊かに関わり合うことができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。 ・自己の心と体の状態に応じて，運動の行い方を選んだり，工夫したりしている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動に積極的に取り組もうとしている。 ・運動を行う際の約束を守り，仲間と助け合おうとしている。 ・運動を行う場の設定や用具の片づけなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ・運動の行い方について，仲間の気づきや考え，取り組みのよさを認め合おうとしている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配ろうとしている。

体づくり運動 体の動きを高める運動

【単元の目標】

- 体の動きを高める運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解することができるようにする。
- ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができるようにする。
- 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、約束を守り、助け合って運動したり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能 (運動)	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の必要性や、体の動きを高めるための運動の行い方を理解している。 ・自己の課題を踏まえ、直接的に体力の向上をねらいとして、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・運動のポイントを見つけている。 ・体の動きを高めるために適した運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。 ・体の動きを高めるために、自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に積極的に取り組もうとしている。 ・約束を守り、助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりしようとしている。 ・仲間の考えや取り組みを認めようとしている。

※ICT機器やデジタルコンテンツを具体的に示すこともできる。

器械運動 マット運動

【単元の目標】

- マット運動の行い方を理解し，自己の能力に適した回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりすることができるようにする。
- 自己の能力に適した課題を見つけ，課題に応じた練習の場や段階を選ぶことができるようにする。
- 観察し合って見つけたコツやわかったことを仲間に伝えることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み，約束を守り，助け合って運動をしたり，仲間の考えや取り組みを認めたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動の課題や約束，場や用具の使い方，場の安全の確保など，運動の特性に応じた行い方を理解している。 ・技の行い方や技のポイント，練習の仕方を理解している。 ・自己の能力に適した回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技を行ったりして技を身につけたり，できる技を繰り返したり，組み合わせたりすることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を見つけている。 ・学習カードや掲示物などを活用して，課題の解決に向けた活動（練習の場や段階）を選んでいる。 ・観察し合って見つけた自己のコツや，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動に積極的に取り組もうとしている。 ・学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合って練習しようとしている。 ・仲間の考えや取り組みを認めようとしている。 ・準備や片づけなど，分担された役割を果たそうとしている。 ・場や器械・器具の安全に気を配っている。

器械運動 鉄棒運動

【単元の目標】

- 技の行い方を理解し，自分の力に合った基本的な技を安定して行ったり，その発展技を行ったり，それらを繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。
- 自分の力に合った課題を見つけ，課題に応じた練習の場や段階を選ぶことができるようにする。
- 見つけたコツやわかったことを仲間に伝えることができるようにする。
- 仲間の考えや取り組みを認め，助け合って運動することができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技の行い方を理解し，自分の力に合った基本的な技が安定してできる。 ・技の行い方を理解し，自分の力に合った基本的な技や発展技ができる。 ・できるようになった技を繰り返したり，組み合わせたりすることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・学習資料やＩＣＴ機器を活用して，自分の力に合った課題を見つけている。 ・課題を解決するために，自分の力に合った練習の場や段階を選んでいる。 ・観察し合って見つけたコツや，わかったことを仲間に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に積極的に取り組もうとしている。 ・運動する場や器械・器具の安全に気を配っている。 ・仲間の考えや取り組みを認め，助け合って運動しようとしている。

器械運動 とび箱運動

【単元の目標】

- 跳び箱運動の行い方を理解し、自己の能力に適した繰り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができるようにする。
- 自己の能力に適した課題を見つけ、課題に応じた練習の場や段階を選ぶことができるようにする。
- 観察し合って見つけたコツやわかったことを仲間に伝えることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、約束を守り、助け合って運動をしたり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動の課題や約束、場や用具の使い方、場の安全の確保など、運動の特性に応じた行い方を理解している。 ・技の行い方や技のポイント、練習の仕方を理解している。 ・自己の能力に適した繰り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりして技を身につけたり、できる技を繰り返したり、組み合わせたりすることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を見つけている。 ・学習カードや掲示物などを活用して、課題の解決に向けた活動（練習の場や段階）を選んでいる。 ・観察し合って見つけた自己のコツや、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動に積極的に取り組もうとしている。 ・学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合って練習しようとしている。 ・仲間の考えや取り組みを認めようとしている。 ・準備や片づけなど、分担された役割を果たそうとしている。 ・場や器械・器具の安全に気を配っている。

陸上運動 短きより走・リレー

【単元の目標】

- 短距離走やリレーの行い方を理解することができるようにする。
- 走る距離やバトンの受け渡しのルールを定めて競走したり、自分（チーム）の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、一定の距離を全力で走ることができるようにする。
- 自分（チーム）の記録を高めるために、課題の解決の仕方を知り、競走や記録への挑戦の仕方を工夫することができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、約束を守り、助け合って運動したり、安全に練習や競走をしたりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走の計測や競走の仕方，リレーの行い方を知り，バトンの受け渡しについてそれぞれの役割を理解している。 ・テークオーバーゾーン内でバトンの受け渡しをすることができる。 ・スタンディングスタートから走り始め，体を軽く前傾させて，ゴールまで全力で走り切ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で，減速の少ないなめらかなバトンの受け渡しをすることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の走り方や跳び方の様子をICT機器を活用するなどして確認し，動きのポイントと自己やグループの仲間の動きを照らし合わせることをすることができる。 ・学習資料や仲間の動きなどから，自分の課題を見つけている。 ・競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・走路や器具の使い方など，安全に気をつけて運動しようとしている。 ・準備や片づけ，計測・判定などを協力して行おうとしている。 ・自分（チーム）の目標に向かって，全力で運動に取り組もうとしている。 ・ルールを守り，勝敗に対して公正な態度をとろうとしている。

※ICT機器やデジタルコンテンツを具体的に示すこともできる。

陸上運動 投の運動 遠くに投げよう

【単元の目標】

- 遠くに投げる投げ方を理解することができるようにする。
 - ねらった方向へ投げる，基本的な動きを身につけることができるようにする。
- ※「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」の目標は，陸上運動を参照。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠くに投げる投げ方や安全に対するきまりを理解している。 ・ ねらった方向に力いっぱい投げることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分に合った投げる運動を選んでいる。 ・ より遠くに投げる投げ方を見つけ，仲間に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順番やきまりを守り，だれとでも仲よく活動しようとしている。 ・ 用具の準備や片づけを仲間と一緒にしようとしている。 ・ ボールを当てない，ぶつからないように，場の安全に気をつけている。

陸上運動 ハードル走

【単元の目標】

- ハードル走の行い方を理解することができるようにする。
- ハードルを自分に合ったリズムでリズムカルに走り越えることができるようにする。
- 自分の力に合った課題を見つけ、解決の仕方、競走や記録への挑戦の仕方を工夫したり、考えたことを仲間に伝えたりすることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、約束を守り、助け合って運動したり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えた取り組みを認めたり、安全に気をつけたりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の間隔に置かれたハードルを、3歩または5歩のリズムで走り越える行い方を理解している。 ・ハードルを3歩または5歩のリズムで走り越えることができる。 ・リズムカルに走り越えるための運動の仕方を理解している。 ・第1ハードルを決まった足で踏み切って走り越えることができる。 ・スタートから最後まで、体のバランスをとりながらまっすぐ走ることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場を走りながら、自分に合った走りのリズムを考えている。 ・自分の力に合った課題を見つけている。 ・自分の力に合う場や自分の課題に合った練習の場を選んでいる。 ・課題を解決するために、考えたことを仲間に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走に積極的に取り組もうとしている。 ・約束を守り、助け合って運動したり、準備や片づけをしたりしようとしている。 ・場や用具の安全に気を配っている。 ・互いに動きを見合い、仲間の考えや取り組みを認めようとしている。

※ICT機器やデジタルコンテンツを具体的に示すこともできる。

陸上運動 走りはばとび

【単元の目標】

- 走り幅跳びの運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解することができるようにする。
- 7～9歩程度のリズミカルな助走から、踏み切りゾーンで力強く踏み切って跳び、かがみ跳びから両足で着地することができるようにする。
- 自己の能力に応じた課題を見つけ、課題に応じた練習の場や段階を選び、自己や仲間が考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、約束を守り、助け合って運動したり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びの行い方や計測の仕方を理解している。 ・自分に合った助走距離を見つけ、踏み切りゾーンに合わせて踏み切ることができる。 ・リズミカルな助走から踏み切ることができる。 ・「ん」の字の形を意識して、膝を柔らかく曲げてかがみ込むように着地することができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力や技能ポイントを理解し、自分に合った目標記録を立てている。 ・自分の力に合った課題を設定し、それに合った練習の場や段階を選んで練習している。 ・仲間と動きを見合い、技能ポイントを確かめながら練習したり、競争したりしている。 ・運動のポイントや、学習の記録、仲間の動きのよさなどを学習カードに書いたり、発表したりして伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・より遠くへ跳ぶことを目指して、進んで運動に取り組もうとしている。 ・用具の準備や片づけ、計測、記録など、分担された役割を果たしたり、場の安全を確かめたりしようとしている。 ・競争のルールや記録への挑戦の仕方を守り、だれとでも仲よく励まし合おうとしている。 ・課題解決の際に、仲間の考えや取り組みを認めようとしている。

陸上運動 走り高とび

【単元の目標】

- 走り高跳びの行い方を理解することができるようにする。
 - ・はさみ跳びで足から着地
 - ・リズムミカルな助走
 - ・上体を起こした力強い踏み切り
- 5～7歩程度のリズムミカルな助走から、力強く踏み切って跳び、足から着地することができるようにする。
- 自己やグループの能力に適した課題を見つけ、課題に応じた練習や段階を選ぶとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- 走り高跳びに積極的に取り組み、約束を守り、助け合って運動したり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びの行い方を理解している。 ・はさみ跳びで足から着地 ・リズムミカルな助走 ・上体を起こした力強い踏み切り ・5～7歩程度のリズムミカルな助走から、はさみ跳びで足から着地することができる。 ・上体を起こして、力強く踏み切って跳ぶことができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの能力に適した課題を見つけている。 ・運動のポイントや、学習の記録などを学習カードに書いたり、発表したりして伝えている。 ・課題に応じた練習の場や段階を選んでいる。 ・運動のポイントや、学習の記録、仲間の動きのよさなどを学習カードに書いたり、発表したりして伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びに進んで取り組もうとしている。 ・約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ・課題を見つれたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取り組みを認めようとしている。

※ICT機器やデジタルコンテンツを具体的に示すこともできる。

水泳運動 水泳運動

【単元の目標】

- クロールや平泳ぎ，背浮きや浮き沈みの行い方を理解することができるようにする。
- クロールや平泳ぎ，背浮きや浮き沈みの技能を身につけて，続けて長く泳ぐ・浮くことができるようにする。
- 自己の能力に適した課題を決め，課題解決の仕方や，記録への挑戦の仕方を工夫するとともに，考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み，仲間の考えや取り組みを認めて協力したり，水泳運動の心得を守って，安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・背浮きや浮き沈みの行い方を理解し，習熟することができる。 ・クロールや平泳ぎの行い方を理解し，習熟することができる。 ・クロールで，手と足の動きに呼吸を合わせながら，続けて長く泳ぐことができる（25～50mを目安にしたクロール）。 ・平泳ぎで，手と足の動きに呼吸を合わせながら，続けて長く泳ぐことができる（25～50mを目安にした平泳ぎ）。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法や目標距離など，自分の力に合った課題を選んでいる。 ・泳ぎのポイントや課題に合った練習方法を理解して練習している。 ・自己の水泳の楽しみ方を選び，活動の仕方を工夫している。 ・教師や仲間の助言によって自分の力に合った課題を選んだり，練習方法を工夫したり，簡単な学習計画を立てたりしている。 ・自分に合った距離や，記録への挑戦の仕方を選び，続けて長く泳ぐ工夫をしている。 ・自分や仲間について見つけた動きのポイントや課題に適した練習方法について，仲間に伝えたり，学習カードに書いたりしている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・泳ぐことの楽しさを味わうために，自分の力に合った課題をもって進んで取り組もうとする。 ・約束を守り，仲間の考えや取り組みを認めて励まし合ったり，補助し合ったりしようとする。 ・体の調子を確認してから泳ぐなど，水泳運動の心得を守り，安全を保持することに気を配ろうとする。

ボール運動 ゴール型 バスケットボール

【単元の目標】

- バスケットボールの行い方を理解することができるようにする。
- パスやシュートなどのボール操作やボールを受けるための動きによって攻めたり、それをさせないように守ったりして簡易化されたゲームをすることができるようにする。
- ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を選んだりすることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、ルールを守り、助け合ったり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの行い方を理解している。 ・フリーの味方にパスを出したり、ボールを受けることのできる場所や得点しやすい場所に動いてパスを受けたりして、シュートすることができる。 ・相手に取られない位置でドリブルをして、ボールを運ぶことができる。 ・ボールを保持する人とゴールの間に体を入れて相手の得点を防ぐことができる。 ・チームの作戦に基づいた位置取りや、パスやドリブル、シュートによって、得点につなげることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが楽しんで行えるようにルールを工夫している。 ・自分のチームの特徴に応じた攻め方を知り、作戦を選んでいる。 ・プレイ上の制限や得点の仕方など、自分たちに合ったルールを選んだり工夫したりしている。 ・自分のチームの特徴に応じた作戦を選んで、その有効性についてふり返っている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや練習に進んで取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守って、安全にゲームをしようとしている。 ・用具の準備や片づけで、分担された役割を果たそうとしている。 ・励ましの言葉をかけ合うなど、仲間と助け合ってゲームや練習をしようとしている。 ・運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。

ボール運動 ゴール型 ハンドボール

【単元の目標】

- ハンドボールの行い方を理解することができるようにする。
- パスをつないで攻めたり守ったりして、ゲームをすることができるようにする。
- ルールを工夫したり、自分たちのチームに合った作戦を選んだりすることができるようにする。
- ルールや作戦などについて考えたことを、仲間に伝えることができるようにする。
- ルールを守り、仲間と助け合ってゲームをすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボールの行い方を理解している。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出したり、ボールを受けることのできる場所に動いてパスを受けたりして、ゲームをすることができる。 ・パスをつなぐ方法を知り、パスコースをつくる動きをすることができる。 ・得点しやすい場所がわかり、そこにボールを送り、シュートチャンスをつくることができる。 ・チームの作戦に基づいた位置取りや、パスやシュートによって得点することができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のチームの特徴に応じた攻め方を知り、作戦を立てている。 ・プレイ上の制限や得点の仕方など、自分たちに合ったルールを選んだり工夫したりしている。 ・自分のチームの特徴に応じた作戦を選んで、その有効性についてふり返っている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや練習に進んで取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守って、安全にゲームをしようとしている。 ・用具の準備や片づけで、分担された役割を果たそうとしている。 ・励ましの言葉をかけ合うなど、仲間と助け合ってゲームや練習をしようとしている。 ・運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。

※ICT機器やデジタルコンテンツを具体的に示すこともできる。

ボール運動 ゴール型 サッカー

【単元の目標】

- サッカーの行い方を理解することができるようにする。
- パスやシュートなどのボール操作とボールを受けることができる場所に動くなどのボールを持たないときの動きによって、攻めたり守ったりしてゲームをすることができるようにする。
- ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、ルールを守り、助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーの行い方を理解している。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・得点しやすい場所に移動して、パスを受けてシュートすることができる。 ・相手に取られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コート of 広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいいる。 ・自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいいる。 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。 ・場の設定や用具の片づけなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取り組みを認めようとしている。 ・使用する用具の安全に気を配っている。

※ICT機器やデジタルコンテンツを具体的に示すこともできる。

ボール運動 ネット型 フラッグフットボール

【単元の目標】

- フラッグフットボールの行い方を理解することができるようにする。
- パスやランをして、攻めたり守ったりすることができるようにする。
- ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、ルールを守り、助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッグフットボールの行い方を理解している。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手のフラッグを取るることができる。 ・得点しやすい場所に移動して、パスを受けることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コート の広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいく。 ・自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいく。 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。 ・場の設定や用具の片づけなどで、分担された役割を果たそうとしてい る。 ・ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、 仲間の考えや取り組みを認めようとしている。 ・使用する用具の安全に気を配っている。

ボール運動 ネット型 ソフトバレーボール

【単元の目標】

- ソフトバレーボールの行い方を理解することができるようにする。
- トスやアタックなどのボール操作とチームの作戦に基づいた位置取りをするなどの、ボールを持たないときの動きによって、相手を取りにくいボールを返球し合うゲームをすることができるようにする。
- ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバレーボールの行い方を理解している。 ・味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。 ・ボールの方向に体を向けて、その方向にすばやく移動することができる。 ・相手コートにボールを打ち返すことができる。 ・自陣のコートから相手コートに向けて、サービスを打ち入れることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいる。 ・自分のチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 ・課題の解決のために、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。 ・場の設定や用具の片づけなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取り組みを認めようとしている。 ・使用する用具の安全に気を配っている。

※ICT機器やデジタルコンテンツを具体的に示すこともできる。

ボール運動 ベースボール型 ティーボール

【単元の目標】

- ティーボールの行い方を理解することができるようにする。
- ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって攻防をし、簡易化されたゲームをすることができるようにする。
- ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすることができるようにする。
- 運動に積極的に取り組み、ルールを守り、助け合ったり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

<p>知識 ・ 技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーボールの行い方を理解している。 ・静止したボールを打ったり、走塁したりして攻撃することができる。 ・相手の攻撃を阻止するために捕球したり送球したりして、攻守を交代するゲームをすることができる。 ・得点を取るために塁間を全力で走塁することができる。 ・チームとして守備の隊形をとってアウトにする（進塁を防ぎ、得点を与えないようにする）動きができる。
<p>思考 ・ 判断 ・ 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コート の広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいる。 ・自己やチームの特徴に応じた作戦を選んで、ふり返っている。 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
<p>主体的に 学習に 取り組む 態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや練習に積極的に取り組もうとする。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。 ・用具の準備や片づけ、場を整備するとともに、用具の安全に気を配っている。 ・ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、 仲間の考えや取り組みを認めようとしている。

※ICT機器やデジタルコンテンツを具体的に示すこともできる。

表現運動 表現運動

【単元の目標】

- 表現の行い方を理解することができるようにする。
- 変化や起伏をつけた即興的な表現や、簡単なひとまとまりの表現で踊ることができるようにする。
- 自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、自分やグループのよさを生かす動きを見つけたりすることができる。また、他のグループと動きを見合い、よかったところを伝えることができるようにする。
- 「大変だ！」の表現に積極的に取り組み、互いの動きのよさを認め合い、助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の行い方を理解している。 ・「大変だ！」からいろいろなイメージを捉え、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・「大変だ！」のイメージの表したい感を強調するために、動きを工夫することができる。 ・「はじめーなかーおわり」をつけた、簡単なひとまとまりの動きにして、感を込めて踊ることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「大変だ！」のイメージから特徴的な動きを見つけ、自分の動きに取り入れている。 ・気に入った「大変だ！」のイメージを選び、表したい感を強調できるように、動きに変化と起伏をつけたり、群の動きを工夫したりしている。 ・互いの動きを見合い、表したい感じやイメージが表れているかをグループに伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで表現に取り組み、楽しく踊ろうとしている。 ・自分や仲間、グループの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ・仲間と助け合って取り組もうとしている。 ・安全に気を付けている。

スキー スキー

【単元の目標】

- スキーの行い方を理解することができるようにする。
- プルークターン、シュテムターン、パラレルターンなど、斜面に合った滑り方で長い距離を滑ったり、仲間と合わせて滑ったりすることができるようにする。
- 自己の能力に応じて、斜面に合った滑り方や、仲間と合わせて滑る方法、リズムを工夫することができるようにする。
- 仲間の滑りのよい動きを見つけて、考えたことを仲間に伝えることができるようにする。
- 斜面に合った滑り方に積極的に取り組み、約束を守り、助け合って滑ったり、周囲や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・スキーの行い方を理解している。 ・滑走プルーク（プルークターン）、シュテムターン、パラレルターンなど、斜面に合ったさまざまなターンができる。 ・斜面に合った滑りをしながら長い距離を滑ることができる。 ・仲間とつながって滑ったり、リズムを合わせて滑ったりすることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・斜面に合った滑り方を選んでいる。 ・斜面に合った滑り方をするための自分の課題を捉え、その解決のためのめあてをもっている。 ・仲間の滑りのよい動きを見つけて、考えたことを伝えている。 ・仲間と一緒に楽しく滑るため、自分たちの力に合った滑り方やリズムを工夫している。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・斜面に合ったさまざまなターンの練習に進んで取り組もうとしている。 ・自分や仲間の用具をしっかり点検しようとしている。 ・進んで長い距離を滑ったり、仲間と合わせて滑ったりしようとしている。 ・滑る順番を守り、上から滑ってくる人がいないか確かめるなど、周囲の安全に気を配っている。

スケート スケート

【単元の目標】

- スケートの特性に応じた滑り方や楽しみ方を理解することができるようにする。
- 自己の課題を捉えてスケート学習に取り組み、自分のスケート靴に応じた滑り方ができるようにする。
- 自分のできる滑り方で楽しみながら、さらに速くきれいに滑るための工夫をしたり、作戦を考えてゲームを楽しんだりすることができるようにする。
- 防寒や安全に注意し、仲間と協力したり、教え合ったりしながら学習を進めることができるようにする。

【学習活動における具体的な評価規準例】

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・スケートの特性に合った滑り方や楽しみ方を理解している。 ・基本的な直線滑走やスケート操作ができる。 ・スケートの特性に応じた、さまざまな滑り方や止まり方ができる。 ・アイスホッケーでは、ドリブルやパスを使ったシュートゲームができる。 ・フィギュアスケートでは、グループで協力しながらさまざまな滑り方を取り入れて、なめらかに表現することができる。 ・スピードスケートでは、スピードを落とすことなく、長く滑ることができる。
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな滑り方や止まり方に挑戦しながら、自己の課題に適した練習を選んでいる。 ・自己の課題を解決するために、仲間と協力しながら練習を工夫している。 ・競争や演技を見て気づいたことや動きのこつなどを仲間に伝えている。 ・自己やグループの能力に適した課題の解決の仕方や、競争や記録への挑戦や豊かな表現をするために工夫している。 ・ルールや場を工夫したり、チームの特徴に応じた作戦を立てたりしている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・スケートリンクのきまりや学習のきまりを守り、安全に気をつけている。 ・運動に進んで取り組み、仲間のよいところを見つけたり、教え合ったりしようとしている。 ・場の安全に気を配り、ルールやマナーを守ろうとしている。